

令和4年度一般会計予算など

各会計当初予算を可決

一般会計予算は2022億4000万円

〈前年度比10・9%増〉



定例会初日、議案の提案説明を行う蓮田市長

令和4年3月定例会は、去る2月18日から3月18日までの29日間の会期で開かれました。

今定例会では、初日に市長提出議案として「令和3年度各会計補正予算」「令和4年度各会計当初予算」など28議案が上程され、いずれも可決しました。

また、動議1件が提出され、否決となりました。さらに、議員提出議案として「議案第2号令和3年度蓮田市一般会計補正予算(第11号)」に対する附帯決議が上程され、可決しました。

3月10日には議員提出議案として「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する非難決議」が上程され、総員で可決しました。

最終日には、議員提出議案として「議案第24号令和4年度蓮田市一般会計予算に対する附帯決議」など2議案が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。なお、今定例会に提出された「黒浜緑地の樹木伐採・抜根の計画を再検討し、歴史ある緑地の緑保全を求める請願」は趣旨採択となりました。

市長提出議案

議案第24号 令和4年度蓮田市一般会計予算

市制施行50周年を迎える大きな節目の年。子育て・教育・基盤整備を柱に複雑多岐にわたる行政課題に全力で取り組む

予算総額は2022億4000万円の前年度と比較して、額にして19億8700万円の増、10・9%の増となっています。

総務費では、令和4年10月1日に迎える市制施行50周年記念の事業費を計上するほか、令和4年4月からは、「広報はすだ」をポストへの投函という形で、これまで課題となっていた全世帯配布を実施。

また、マイナンバーカードを利用して、各種証明書を全国のコンビニエンスストアで取得できるよう環境を整備。

また、「埼玉一安心・安全なまち」を目指して、街路灯LED化の推進、カープミ

ラーや道路区画線の整備等を推進。さらに、コミュニティセンターについては、令和4年度から5年間、新たに「街活性室株式会社」を指定管理者として管理運営を行う。

民生費では、蓮田市社会福祉協議会との連携を強化し、引き続き、地域福祉の推進を図る。生活保護世帯、生活困窮世帯の中学生、高校生を対象の学習支援事業を、引き続き実施するとともに、小学生を対象の事業に加え、貧困の連鎖を解消するため、自立支援策の向上を図る。また、老人福祉センターの運営やシルバー人材センター事業の支援を引き続き実施し、新たに、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業を開始して、一人ひとりの健康状態に応じた、きめ細やかな支援を図る。

自立支援給付事業、地域生活支援事業等の各種支援事業を引き続き実施し、障害者支援体制の向上を図る。また、老朽化したはなみずき作業所の建設工事を実施。

児童虐待防止対策推進事業では、児童虐待に関する専門的な相談対応や指導・助言

令和4年度各会計予算規模

議案第24号

(単位：千円、%)

会計名	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計	20,240,000	18,253,000	1,987,000	10.9

議案第25号～27号

特別会計	国民健康保険	6,154,378	6,136,385	17,993	0.3
	後期高齢者医療	1,151,130	1,018,786	132,344	13.0
	介護保険	5,617,533	5,579,436	38,097	0.7
	黒浜土地業 黒区画整理事業	—	13,231	△ 13,231	皆減
特別会計	蓮田駅西口第一種 市街地再開発事業	—	60,246	△ 60,246	皆減

議案第28号～29号

公営事業	水道事業	収益的収入	1,299,549	1,331,211	△ 31,662	△ 2.4
		収益的支出	1,235,408	1,249,516	△ 14,108	△ 1.1
		資本的収入	164,418	202,201	△ 37,783	△ 18.7
		資本的支出	868,749	772,372	96,377	12.5
	下水道事業	収益的収入	1,227,775	1,235,310	△ 7,535	△ 0.6
		収益的支出	1,223,245	1,219,049	4,196	0.3
		資本的収入	596,018	743,719	△ 147,701	△ 19.9
		資本的支出	990,017	1,053,873	△ 63,856	△ 6.1

幼児の発達に関する相談支援及び関係機関との連絡調整等を行う子ども家庭総合支援拠点運営事業を開始。

保育施設の関係では、令和4年4月から馬込地内に定員90人の星の子ルチャ保育園が開園し、令和4年度については0歳児から3歳児までの児童50人を受け入れ保育業務を開始するほか、大山幼稚園が認定こども園に移行し、こども園業務も実施。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公立・私立保育園等の感染症対策をさらに強化し、園児の安全な保育を実施。

また、心身障がい児通園施設「さくら園」

の運営業務を保育課から子ども支援課に移管し、ケースワーカーや保健師等との連携を密にすることで、さらに心身に障がいのある児童への包括的な支援を図る。

児童保育所については、指定管理者制度を導入してから3年目を迎え、指定期間が終了。次の令和5年度からの5年間の指定管理者を新たに選定し、児童保育所の更なる質の向上を目指す。

子育て支援の関係では、蓮田駅西口行政センター内子育てサポートコーナー「プレックス・キッズ」において、利用者支援事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、ファミリー・サポート・センター

事業を引き続き実施。

衛生費では、新型コロナウイルス感染症の影響による市民生活支援を目的に水道料金等の減額を行うための事業費を計上。

また、地域救急医療体制の整備を図り、医療連携の推進、各種がん検診事業等を引き続き実施し、市民の健康の保持増進に努める。母子保健事業では、妊娠から出産子育てまでを切れ目なく支援する、子育て世代包括支援センター事業を引き続き実施するとともに、子ども家庭総合支援拠点と連携し相談支援を実施。さらに不妊治療費の保険適用に対応していくほか、産後1か月を目安に産婦健康診査を新たに推進。

乳幼児健康診査事業では、「弱視」の早期発見に向け、3歳児健康診査において専用の検査機器による視覚検査を新たに導入。環境学習館建設事業については、新たな環境学習館が環境学習以外にも地域コミュニティ活動の拠点となるよう整備。

農林水産費では、農業の活性化を図るため、多面的機能維持に対する支援、農地中間管理事業を活用した利用集積を推進。さらに、経営の不安定な新規就農者に対する支援を実施。また、地元農産物をPRし、農業者と市民の交流を推進するため、農業まつりなどのイベント開催を支援するとともに、特産品である「梨」の生産振興、安心・安全な地元農産物の地産地消の事業支援を継続。

かんがい排水整備事業では、蓮田地内の用排水路改修工事や高虫地内の用水路土留工事、貝塚悪水路改修工事を進める。

商工費では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内事業者の支援

地域経済の活性化、市民生活の支援を目的とする「プレミアム付商品券」発行事業を再度実施。

また、商工業の振興と活性化のため、創業者等支援を実施するとともに雅楽谷の森フェスティバルなど各種団体及び各種事業者の活動を支援。消費者行政では、高齢者や児童生徒等の未成年者はもとより、令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられることにより消費者被害に遭わないための消費者教育の推進や消費生活相談並びに啓発活動、情報の発信に力を入れ、市民の消費生活の安定と向上に努める。

土木費では、公園整備事業で老朽化している堂山公園のトイレ更新工事のための設計業務委託や上町ふれあいの森の整備工事など、市民の憩いの場の充実を図るとともに、黒浜緑地の整備を進め、市民生活の安心安全の向上を図る。

道路維持補修事業では、まちなかウォークブル推進事業として、のくぼ通りなどの歩道を整備。また、生活道路改良重点整備事業として、幹線道路や生活道路の整備予算を計上。

橋りょう維持補修事業では、老朽化している馬込地内の八幡橋の基本設計を行う。蓮田スマートインターチェンジ整備促進事業では、下り線の用地測量及び物件調査に係る予算を計上。埼玉県及びネクスコ東日本と協力し、大型車対応のスマートインターチェンジのフル化を進める。

県道蓮田鴻巣線歩道整備事業では用地取得に係る予算を計上。埼玉県から用地取得事務を受託し、県道の歩道整備を通じて安心・安全な街づくりを推進。

企業立地促進事業では高虫西部土地区画整理事業の予定区域を市街化区域へ編入するための都市計画決定図書等の作成に要する予算を計上。都市計画法に定められた手続きを進め、産業団地整備計画を実現予定。**消防費**では、消防活動推進事業での救急現場や高度救命活動に必要な資材や新型コロナウイルス感染症対策として必要な資材を整備する予算を計上。

消防ポンプ自動車更新事業では、中高層建物の火災対応として消防力の強化を図るため、はしご機能を有する消防ポンプ自動車を整備予定。

消防団運営業務経費では、台風等の水害対応の強化を図るため、救命ボート1艇を増強する計画。

教育費では、引き続き児童・生徒の安全確保に努めるとともに、教育環境の向上を図るため、令和4年度は平野小学校校舎外壁、屋上防水改修工事、黒浜北小学校校舎トイレ改修工事、黒浜小学校給食棟新築工事の設計を行う。また、学校体育館については、蓮田南中学校の放送設備更新工事、黒浜南小学校の照明改修工事、黒浜西中学校の屋根、外壁及び照明設備改修工事を実施。

また、令和4年度も教職員の業務削減のために、授業準備の補助や感染予防のための消毒作業等に従事するスクール・サポート・スタッフの配置を図る。

学校教育では、引き続き感染症対策に係る消耗品の購入を整備。また、子供たちの読書活動を推進し、創造性の基礎を培い、豊かな情操を養うことを趣旨として、蓮田市の子供たちに読んで欲しい本を選定し、

冊子にして紹介。また、入学準備金貸付事業や就学援助事業、家庭教育推進事業を実施し、子どもの貧困対策や子育てによる孤立防止に努める。

社会教育に関係する事業では、国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業について引き続き国の補助金を活用しながら、第8期整備工事及び学術調査報告書の刊行を行い、令和4年度内の史跡の全面供用開始に向け事業を実施。

中央公民館については、パーキングシstemを導入した駐車場を整備するための設計を行う。

スポーツ及び文化振興に関する事業では、市制施行50周年事業として、スポーツ観戦や文化公演を実施。また、総合市民体育館大規模改修及びサブアリーナ増築事業では、設計にかかる予算を計上。

反対討論

主な理由9点により、令和4年度蓮田市一般会計予算に反対

以下、主な理由9点により、日本共産党は反対します。①国保特会への法定外繰出金が2千万円減額し、負担軽減に逆行②マイナンバー制度関連予算は社会保障抑制と税・保険料負担増につながる③正規保育士の登用を増やすべき④学童保育所は公的責任で堅持・拡充すべき⑤学校からの要望でない学校運営協議会新設は反対⑥既に目標達成しているはずだっ子ペンの達人事業予算は他事業にあてるべき⑦国が特別対策を最終した同和事業への支出はやめるべき⑧経費が高すぎるコンビニ交付サービ

ス事業は時期尚早⑨総合市民体育館大規模改修およびサブアリーナ増築事業は、充分な資料をもとにした慎重審議と市民の合意形成が必要。

反対討論

黒浜緑地の全面コンクリート施工予算と、基本計画を市民に示さず全体の事業費も分からないサブアリーナ設計予算は認められない

本予算は、黒浜緑地を全面コンクリート化する予算が組まれているが、整備方針を市民に問うべきであり、このまま認めるわけにはいかない。緑化に方針を転向するならば、積算から何から数字が異なるのだから、積算を出し直すべきである。また、パルシィの大規模修繕とサブアリーナ増築については、まず基本計画を市民に示し、合意を得てから設計予算を計上すべきで、基本計画も示さず、市民に内緒で計画を進め設計予算を計上することは、市民無視の市政運営である。

反対討論

「サブアリーナ建築（増築）には慎重審議を」

総合市民体育館とサブアリーナの建築を一緒に行うための設計委託費として計上されているが、サブアリーナと総合市民体育館の大規模改修は別々に行うべき、また別々に議論すべき。委員会でも基本計画が未完成で議案を審議するのに必要な資料がなく審議が不十分であった。要望書が平成23年4月に提出されたもので、市民の方へ広く意見を求めるなどサブアリーナ建設に向けての周知が行われてこなかった。また、

サブアリーナの必要の可否がサブアリーナ検討委員会以外の審議がされないまま現在に至っていること。

総合市民体育館の大規模改修工事は早急に行うべきだが、サブアリーナ建築に関しては再度、市民に是非を問うべき。サブアリーナ建築の是非の審議が不足しているため反対。

反対討論

サブアリーナ建設は市事業の中で優先すべき事業にはならない

予算の中に、「総合市民体育館大規模改修及びサブアリーナ増築事業」予算が計上されている。市民体育館は老朽化しているため、平成30年の中期保全計画に従い緊急に改修すべき。しかし、サブアリーナに関しては、平成28年の市民意識調査や令和2年の市民意識調査においても、市民要望は中小学校の施設整備や保健・医療体制の整備や公共交通の利便性などの方が高く、市民要望があると判断するには不十分。初心の会は反対する。

議案第2号 令和3年度蓮田市一般会計補正予算（第11号）

予算の執行状況や事業内容を十分に精査し編成

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億5300万円を追加し、予算総額を237億8980万円とするものです。主なものは、障がい者自立支援給付事業については、サービスの利用件数が増加しているため、7867万円増額するもので

市長の行政報告

今定例会における市長からの行政報告は14件で、次のとおりです。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策関係について
- 2 行政手続きにおける押印の見直しについて
- 3 東日本大震災関連の取り組み状況について
- 4 第8次蓮田市交通安全計画の策定及び交通安全対策について
- 5 蓮田市第2次環境基本計画の策定について
- 6 蓮田スマートインターチェンジ（フル化）の進捗状況について
- 7 高虫西部地区産業団地整備事業の進捗状況について
- 8 小・中学校施設の整備について
- 9 親子ふれあい村について
- 10 令和4年成人式について
- 11 国指定史跡黒浜貝塚第7期整備事業について
- 12 令和3年中の火災概況及び救急・救助の活動状況について
- 13 令和4年消防出初式について
- 14 各部の主な事業の進捗状況について

す。また、子育て世帯への臨時特別給付金事業については、国の補助事業として実施している「子育て世帯への臨時特別給付金事業」の支給対象外となっている特別給付受給者、または、それに準ずる方を対象として、児童一人あたり10万円を給付すべく、市独自の事業経費を計上するものです。

このほか、財政調整基金に4億6780万円を積立てます。

また、地方債の補正は、起債の限度額の変更をするもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2000万円を増額し、歳入

反対討論

黒浜緑地の全面コンクリート施工予算の繰り越しは認められない

本補正予算は、黒浜緑地を全面コンク

歳出予算の総額を277億3300万円とするものです。主なものとして環境学習館建設事業では、基本設計や実施設計等を行うための委託費を計上。また、黒浜北小学校等の体育館トイレ並びに蓮田南小学校等の校舎トイレについて、施設改修事業費を計上。

反対討論

違法性や安全性に疑義があり、法理論上も不適切な工事の予算は認められない

黒浜緑地整備に関する委員会の決議や討論はともかく、今現在行われている工事は緑地破壊であるから改めなければならぬ。①黒浜緑地は保全された公共緑地の森林である、それを公共団体が破壊するとは有り得ない。②設計と違う図面で工事発注がされているから一度立ち止まるべき。③交付金申請において虚偽の疑いがある。④都市計画もおかしい。⑤環境保全の観点からもおかしい。以上5つの理由で反対する。

議案第10号 蓮田市個人情報保護条例の一部を改正する条例

法律の廃止に伴い規定を整備

内容は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の廃止に伴い、引用法令の変更を受けて規定を整備するものです。施行日は令和4年4月1日です。

反対討論

個人情報侵害の恐れのある改定には反対

これは、蓮田市個人情報保護条例に示されている引用法令を、国の「個人情報の保護に関する法律」へ一本化するのに伴うものです。今後、自治体が独自に制定する保護条例にも縛りをかけることが予定されています。

行政データを民間への利活用へと促進する動きは、利便性と引き換えに、個人情報の侵害・漏洩が深刻化します。よって、日本共産党は反対します。

議案第11号 蓮田市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

職員の不妊治療のための休暇について規定

内容は、職員が不妊治療に係る通院等のために使用できる休暇について、新たに設けるものです。日数は1年に5日とし、体外受精等の治療を受ける場合は10日とするものです。

施行日は令和4年4月1日です。

議案第12号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和などを規定

主な内容は、非常勤職員の育児休業及び部分休業の取得要件を緩和するとともに、育児休業を取得しやすい勤務環境を整備す

るため、妊娠・出産等を申し出た職員に対し、育児休業に関する制度等の周知等を行うものです。

施行日は令和4年4月1日です。

議案第13号 蓮田市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

新たに設置予定の学校運営協議会委員の報酬の額を制定

内容は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市内小・中学校に令和4年度から新たに設置予定の学校運営協議会に係る委員の報酬の額を定めるものです。

施行日は令和4年4月1日です。

反対討論 権限を持った学校運営協議会設置は必要ない

地域と共にある学校づくりについては、すでに学校応援団、PTA、学校評議員会、おやじの会等、しっかりと進められています。あえて、権限を持った学校運営協議会を設置する必要はありません。権限とは、学校運営基本方針を承認する権限であり、教育委員会や学校長に意見を述べる権限です。本来、学校運営は、学校長を中心とする学校に責任があります。また、設置によって益々学校現場が忙しくなるのではないかと危惧するところです。以上の理由で日本共産党は反対します。

議案第14号 蓮田市公共施設等整備基金条例の一部を改正する等の条例

関係する特別会計の廃止など

内容は、蓮田都市計画事業黒浜土地区画整理事業特別会計、蓮田都市計画事業蓮田駅西口第一種市街地再開発事業特別会計及び蓮田市公共用地先行取得事業特別会計を廃止するとともに、蓮田市公共施設等整備基金条例において、基金を充てることができざる事業から、蓮田駅西口第一種市街地再開発事業を削除するものです。

施行日は令和4年4月1日です。

議案第15号 蓮田市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

地方自治法施行令第167条の17の規定に基づき制定

内容は、物品を借り入れる契約では複数年度にわたり契約を締結することが一般的であるもの、役務の提供を受ける契約では複数年度にわたり経常的かつ継続的に役務の提供を受ける必要があるものについて、長期継続契約を可能とするものです。契約の期間は7年以内とするものです。施行日は令和4年4月1日です。

議案第16号 蓮田市史跡黒浜貝塚設置及び管理条例

地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき制定

内容は、史跡黒浜貝塚の供用開始に伴い

禁止行為及び使用料等、管理に必要な事項について定めるものです。施行日は令和4年4月1日です。



黒浜貝塚

反対討論 立法技術が稚拙であり、火の使用禁止や昆虫採集禁止に問題がある

本条例は、文化財保護審議会で審議されたが、火の使用禁止など例外的ない禁止行為の制定は、合理的ではないと私も委員として指摘させていただいた。議論の深化を要望したが、その後審議会が開かれることもなく、今日を迎えている。史跡内での昆虫採集に至っては、原則禁止であるが、外部から飛来したものは、採集の可能性を認めるなど、実務的にも整理がされていない生煮えの条例案である。もつと整理して出し直すべきであり反対する。

議案第17号 蓮田市立学童保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例

蓮田市立中央学童保育所の定員を150人に増員

内容は、蓮田市立蓮田中央小学校内に定員30人の施設を増設し、中央学童保育所の定員を150人とするものです。施行日は令和4年4月1日です。

議案第18号 蓮田市子ども医療費助成条例等の一部を改正する条例

県内の現物給付を実施する医療機関等での医療費の助成方法を改定

主な内容は、今まで市内の医療機関等の窓口で受給者証を提示することにより、一部負担金を支払うことなく医療を受けることができているものを、埼玉県内の医療機関等に拡大するものです。施行日は蓮田市子ども医療費助成条例及び蓮田市重度心身障害者医療費助成条例が令和4年10月1日、蓮田市ひとり親家庭等医療費助成条例が令和5年1月1日です。

議案第19号 蓮田市環境保全条例の一部を改正する条例

民法の一部改正に準じた改正

主な内容は、公聴会の開催請求をすることができる年齢を、20歳以上から18歳以上に改めるものです。施行日は令和4年4月1日です。

議案第20号 蓮田市市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例

道路構造令の一部改正に伴う改正

主な内容は、自転車通行帯及び歩行者利便増進道路に関する規定を追加するものです。施行日は公布の日からです。

議案第21号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

埼玉県都市競艇組合の名称変更

内容は、「埼玉県都市競艇組合」を「埼玉県都市ボートレース企業団」に名称を改めるものです。施行日は令和4年4月1日です。

議案第22号 市道の路線の廃止について

市道6路線を廃止

内容は、県道蓮田杉戸線からの引継ぎに伴い起点終点が変わる1路線、路線番号の重複に伴い路線番号が変わる5路線の計6路線を廃止。

議案第23号 市道の路線の認定について

市道7路線を認定

内容は、県道蓮田白岡久喜線からの引継ぎに伴う1路線、県道蓮田杉戸線からの引継ぎに伴い起点が変わる1路線、また路線番号の重複に伴い路線番号が変わる5路線の計7路線を認定。

議案第25号 令和4年度蓮田市国民健康保険特別会計予算

埼玉県に納める国民健康保険事業費納付金など

歳入歳出予算の総額をそれぞれ61億5437万8000円とするものです。主に、医療費に対する保険給付費、埼玉県に納める国民健康保険事業費納付金、また、特定健康診査や保健指導を実施するための保健事業費などです。

反対討論 社会保障としての国保の役割を守れ

一般会計から法定外繰入金は、昨年度から2000万円下がりが5000万円となりました。これは、被保険者の国保税負担を減らすために市が行っていた繰入金を、県内保険税水準の統一化を前提にした「赤字解消計画」を県が主導し、毎年2000万円ずつ削減、2025年度にゼロ円にする指導をした結果です。法定外繰入金の削減は、社会保障としての国保の役割を維持する観点から到底受入れがたいものです。日本共産党は、18歳までの子ども均等割免除も求め、反対します。

議案第26号 令和4年度蓮田市後期高齢者医療特別会計予算

後期高齢者医療広域連合への保険料の納付金など

歳入歳出予算の総額をそれぞれ11億5113万円とするものです。主に、後期高齢者医療広域連合への保険料の納付金や徴収費としての事務経費です。

反対討論 保険料引き上げは高齢者の命と生活をおびやかす

後期高齢者医療保険料は、2022年度は所得率が8・3%、均等割額4万4417円で、一人当たりの保険料は、8万4771円となり、3660円の引き上げとなります。制度が始まった2008年の高齢者の平均所得は、91万6645円、2019年は75万4695円で、約10年間で高齢者の収入は、16万1950円も下がっています。さらに、今年10月から75歳以上の医療費窓口負担を1割から2割にする改悪が進められます。よって日本共産党は反対します。

議案第27号 令和4年度蓮田市介護保険特別会計予算

介護保険サービス利用に伴う保険給付費など

歳入歳出予算の総額をそれぞれ58億1753万3000円とするものです。主に、要介護・要支援認定の方々の介護保険サービス利用に伴う保険給付費、また、

介護予防事業の推進や地域包括支援センター運営のための地域支援事業費などです。

反対討論 必要な人が必要な介護を受けられる制度を

政府は、介護保険制度改悪を繰り返し、保険あつて介護なしと言われるまでに介護の危機は深刻化しています。厚労省は、さらなる利用者の負担増と給付抑制の議論を進め、高額介護サービス費の負担限度額引き上げや施設等に入所する低所得者の食費住居費を補助する補給給付についての自己負担を増やすという改悪策を打ち出しました。日本共産党は多くの高齢者を介護サービスから外し、国庫負担は増やさずに市民に負担増を押し付ける介護保険制度に反対します。

議案第28号 令和4年度蓮田市水道事業会計予算

安心安全で安定した水の供給のために健全な水道事業経営に努める

収益的収入及び支出予算の額をそれぞれ12億9954万9000円及び12億3540万8000円とし、資本的収入及び支出予算の額をそれぞれ1億6441万8000円及び8億6874万9000円とするものです。

主な事業は、浄水場からの重要な配水管路である市道55号線のほか、椿山地区や綾瀬地区等の老朽管更新工事を今年度も引き続き実施。そのほか、今後、実施を予定している各種工事のための設計委託費を計上。

また、浄水施設については、配水ポンプ更新工事、直流電源盤等の更新工事を計上。

議案第29号 令和4年度蓮田市下水道事業会計予算

蓮田駅東口黒浜線の汚水管渠築造工事等に係る経費を計上

収益的収入及び支出予算の額をそれぞれ12億2775万5000円及び12億2324万5000円とし、資本的収入及び支出予算の額をそれぞれ5億9601万8000円及び9億9001万7000円とするものです。

主な事業として、蓮田駅東口黒浜線の県道蓮田杉戸線側から約198mの汚水管渠築造工事等に係る経費を計上。

議員提出議案

議案第1号議案 議案第2号令和3年度蓮田市一般会計補正予算(第11号)に対する附帯決議

住民等の合意形成等に努めたうえで、植樹・植栽を行い執行すること

議案第2号令和3年度蓮田市一般会計補正予算(第11号)の繰越明許費の公園費1億2380万円のうち、黒浜緑地に関する部分9010万円は安全性を確保しつつ、住民等説明会を実施し、住民等の合意形成等に努めたうえで、植樹・植栽を行い執行することを附帯決議したものです。

反対討論 黒浜緑地の全面コンクリート整備を附帯決議で進めてはならない

提案者に黒浜緑地整備の現状認識を問うても答えられず、この附帯決議では、現状の何が悪くてどうしたいのかが、はっきり見えてこない。また、決議の文言に、植樹植栽をすることとあるが、これを行うと予算を新たに組むことが必要で、新たな予算を組むまでは執行停止かと問うても、答えられなかったことも問題だ。附帯決議は、本案に賛成したときの留意事項として意味を持つので、本案に反対なら、附帯決議に賛成はあり得ない。

賛成討論 附帯決議提案の仕方や動機は恣意的で理解し難いが、内容自体は住民要望に近いので賛成する

第2号議案採決に提出された黒浜緑地整備の見直しを求めた第2号議案への附帯決議とほぼ同じ内容であるから、何故それを否決しておいて、第2号議案可決後に同じような内容の附帯決議を出してくるのか恣意的で理解し難い。しかし議員の矜持に照らせば議員のメンツなどより市民の要望に応えることを優先すべきであるから、附帯決議提案の動機はともかく、その内容だけを単独で評価すれば住民要望に近いので賛成する。



議案第2号議案 ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する非難決議

国際社会と緊密に連携し、ロシア軍の即時無条件での完全撤退と国際法の遵守を強く求める

ロシアによるウクライナへの侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙であり、ウクライナの日本企業や現地留邦人は緊迫した状況のなか、厳しい状況におかれている。このような力を背景とした一方的な現状変更への試みは明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがす行為は断じて容認することはできない。また、プーチン大統領は核兵器で威嚇する姿勢をみせており、これらの行為は決して許されるものではない。

蓮田市は平和憲法の理念に基づき「平和都市宣言」を制定している。蓮田市議会はロシアに対し一連のウクライナへの軍事侵略に厳重に抗議し、政府に対し現地在留邦人の安全確保に努め、国際社会と緊密に連携しつつ、経済的制裁措置の徹底及び強化を図るよう要請するとともに、ロシア軍の即時無条件での完全撤退と国際法の遵守を強く求めて決議したものです。

賛成討論 ロシアによるウクライナへの軍事侵略を非難する非難決議に賛成

今回のロシアの行動は明らかにウクライナの主権と領土の一体性を侵害しており、武力の行使を禁ずる国際法と国連憲章に違反しています。ロシア軍によるウクライナ侵略を最も強い言葉で非難するとともに即

時の侵略停止と部隊の撤収を要求します。21世紀は平和の世紀であり、人道の世紀であるべきです。侵略を断じて許さないと立場で国際社会との連携を強めるべきと考えます。

議案第3号議案 議案第24号令和4年度蓮田市一般会計予算に対する附帯決議

黒浜緑地関連の予算執行については安全性の確保を第一に住民等の合意形成等に努め可能な限り緑の回復、適切な緑地管理に努める

公園整備費の黒浜緑地に関する委託料の黒浜5号緑地整備工事設計業務委託費760万円、および公園施設整備事業費の黒浜2号・4号緑地整備工事費2億6700万円については以下の点に留意して予算執行することを附帯決議したものです。

- 1 専門家の知見を踏まえ、安全性の確保を第一とすること
- 2 各号の緑地ごとに、住民等説明会を実施し、住民等の合意形成等に努めること
- 3 伐採、抜根を行った場合には全面ファイバーセメント吹き付けによる施工を行わず、可能な限り植樹・植栽による緑の回復および適切な緑地管理に努めること

反対討論 請願を否定したうえで附帯決議で肯定とは論理破綻しており反対せざるを得ない

既に市長が請願の内容を認め、全面的に黒浜緑地の整備計画を見直すと言っているのに、議会は請願が全面伐根、ファイバーセメント吹き付けの計画中止及び反対であ

るからとの理由で趣旨採択として請願を否決した上で的一般会計予算に対する附帯決議が請願の内容とほぼ同じとは論理破綻だ。請願を否定して肯定する附帯決議には、今議会においても附帯決議の拡大解釈により趣旨採択した前例もあり信用できないので反対せざるを得ない。

賛成討論

全面ファイバーセメント吹き付けでなく、その場所にあわせた選択を

黒浜緑地の整備については、現段階からの整備方針の転換が可能なのか、また、それがどこまで担保されているのか疑問が生じている。本予算を執行するにあたり、専門家の知見を踏まえた安全性・実現性・継続性を満たした事業の在り方を再検討し、地域の意向を踏まえた持続可能な緑地整備・管理方法の提示を求める。なお、市の適切な対応を担保するためにも、状況や結果は、地域住民の方や議会に対して、適宜報告することを強く求める。

反対討論

黒浜緑地の全面コンクリート整備を附帯決議で進めてはならない

黒浜緑地の全面コンクリート化は、当局により見直しが言明されているが、本附帯決議は、黒浜緑地を全面コンクリート化する予算を認めているにもかかわらず、全面コンクリート化せずに植樹植栽を求めている。本来なら、緑化に方針を転向するならば、積算から何から数字が異なるのだから、予算を出し直すべきであり、コンクリート化を前提とする予算に賛成して附帯決議で緑

化を進めることは適切ではない。

議第4号議案 議案第24号令和4年度蓮田市一般会計予算に対する附帯決議

総合市民体育館サブアリーナの建設については広く市民の意見を求め市議会に資料を提示のうえ判断を求め尊重する。総合市民体育館大規模改修及びサブアリーナ増築事業の委託料1245万8000円及び同事業令和5年度継続費7774万2000円の予算執行にあたり、まず、サブアリーナ建設（増築）について広く市民の意見を求め、さらに総合市民体育館大規模改修やサブアリーナ建設に関する工事費用や工事期間など蓮田市議会が求める資料を示したうえで、議会の判断を求め尊重することを附帯決議したものです。



総合市民体育館/パルシー

反対討論

基本計画を市民に示さず全体の事業費も分からないサブアリーナ設計予算を付帯決議で進めてはならない

本附帯決議は、パルシーの大規模修繕とサブアリーナ増築について、留意事項を示して進めることとされているが、まず基本計画を市民に示すべきで、市民合意を得てから設計予算を計上すべきである。ここで設計予算を認めると、後で計画を市民に公開し、市民が計画の変更を求めた時に、設計変更ができない恐れがある。まず、市民的議論を得てから設計予算を計上すべきで、予算を認めて附帯決議でこれを進めてはならない。

請

願

今定例会に提出された請願は1件で、所管の委員会に付託し、審査を行いました。

請願第1号 黒浜緑地の樹木伐採・抜根の計画を再検討し、歴史ある緑地の緑保全を求める請願

蓮田市藤ノ木1-291 藤井 毅
蓮田市藤ノ木1-291 藤井 彰乃
ほか 112名

要旨

(1)黒浜緑地4・5号の整備に関し、極端な全面抜根・ファイバーセメント吹き付けの計画を中止し、可能な限り樹木を残すよう、整備の内容や施工方法を再検討すること。
(2)倒木や枯れ枝の落下等のリスクを最小限に抑えた上で、倒木の可能性がある樹木を厳選し、伐採するといった緑地管理の徹底

により「安全確保」「緑の保全」を最大限両立させること。

(3)黒浜緑地の整備に関する計画について、多くの人が触れやすいような形で情報を開示し、事前に十分な住民説明を行うこと。
(4)黒浜緑地3号を植樹・植栽により回復させ、ファイバーセメント吹き付け斜面での転落の可能性や、その際の怪我など特に子どもたちへ配慮し、安全対策を行うこと。
黒浜緑地について整備内容の再検討及び十分な住民説明を求める。

審査 建設経済委員会付託

紹介議員から趣旨説明を受け審査を行った。委員から「住民から要望のあった緑地整備という言葉の中に、執行部はモルタル吹付までも願意として含まれていると解釈し、一方、地域住民はあくまで緑地を整備しつつ緑地の保護、保全をするとの認識であった。」

そこに齟齬が生じているため、このような問題が発生したのではないかと、執行部への質疑に対し、「その点についてはご指摘のとおりであり、請願等をいただいていますので、市の考えと地域住民の間にそごが生じていたという事実は認識しています。今後につきましては、安心安全の確保を第一に説明会等を行い、住民の合意形成を図っていきたくと考えています。」との答弁があった。

さらに、委員から「倒木の危険があり安全確保のために一旦全面伐採を行うことについて請願者は反対しているのか。」との紹介議員への質疑に対し、「倒木の危険性のあるものは伐採や手入れをして、きちんと管理していく。安全確保と緑の保全を最

